

2025 年度

二チイキッズ芦屋保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026 年 1 月 5 日（月）～1 月 23 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月13日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念に基づき、一人一人の子どもの主体的な活動ができるように保育計画を立てた。そのなかで、子どもの思いや自我を受け止め、“子どもにとってなにが大切か？”を常に職員間で考えて努めた。
子どもの発達援助	日々のミーティング等で子どもの状況や家庭の様子を共有しあうことで、個々の理解に繋がった。子どもの理解をすることで、一人一人が安心して主体的に活動に参加できるようになった。
保護者に対する支援	保護者が安心してお子様を預けることができるよう、送迎時の会話や連絡帳でのやりとりを大切にされた。常に保護者のニーズを考えて対応することで、なんでも話せる関係性に繋がったように思う。
保育を支える組織的基盤	日々の 15 分ミーティングで保育の振り返りを行い、全職員で子どもの状況を把握することができた。また、毎月テーマを決めて園内研修を実施し、職員の保育の質向上に努めた。

総評
<p>今年度は、ミーティングや日々の情報共有を密にすることで、職員全体で子どもの理解を深めることに努めた。子ども一人一人の気持ちにしっかり向き合い、心身共に安心して園生活を送ることができるように丁寧な保育を心掛けた。</p> <p>引き続き、事故トラブルやケガのない安心安全な保育を行っていただけるよう、ヒヤリハットの職員間の情報共有を密にし、未然に防ぐようにしたい。</p> <p>また、園の保育の質向上、保育内容の充実に向けて、自己研鑽に努め、地域で選ばれる園作りを目指したい。</p>